

斑点米カメムシ類の発生に注意

5月1半旬～7月1半旬の予察灯におけるアカスジカスミカメ累計誘殺頭数は県内6地点中5地点で平年より多く、海津市海津町の予察灯では348頭（平年186.7頭）と、平年の約1.9倍となっています（図1）。また、アカヒゲホソミドリカスミカメについても、県内6地点中5地点で平年より多く、下呂市萩原町の予察灯では106頭（平年44頭）と平年の約2.4倍となっています（図2）。

向こう1か月の気象予報（名古屋地方気象台7月7日発表）によれば、気温は平年より高くなると予想されており、斑点米カメムシ類の増殖に好適な条件が続くため、水田への飛込みが多くなると予想されます。

畦畔や雑草地は、斑点米カメムシ類の好適な生育場所となるため、出穂10日前までに、畦畔や雑草地の除草を行ってください。

また、出穂直前および出穂後の除草は、斑点米カメムシ類を水田内に追い込み、被害を助長する恐れがあるので、出穂10日前までに実施してください。また、散布剤による防除は穂揃期およびその7～10日後の2回実施、粒剤による防除は出穂期の7～10日後を基本として、適期に防除を行ってください。ただし、地域の優占種、薬剤の種類によっては散布時期が異なるので注意してください。

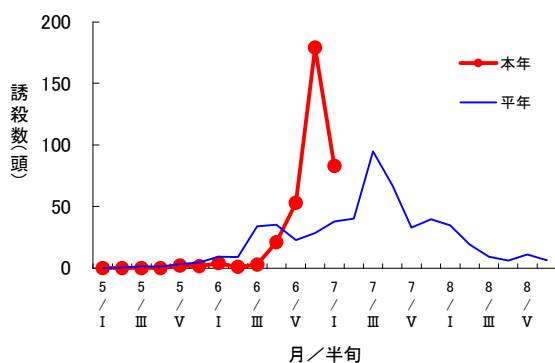


図1 アカスジカスミカメの予察灯誘殺数
(海津市海津町)

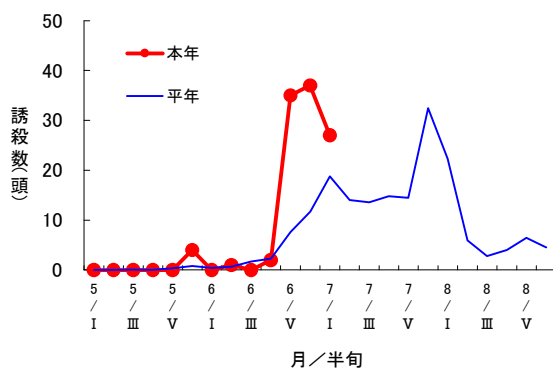


図2 アカヒゲホソミドリカスミカメの
予察灯誘殺数 (下呂市萩原町)

- ・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農薬登録情報提供システム
<https://pesticide.maff.go.jp/>
- ・当所のホームページに発生予察情報、病虫害調査データなどを掲載していますのでご活用ください。
岐阜県病虫害防除所
<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>